

## アメリカの高校バスケットボール事情

杉山英士 (35 回生・早稲田大学高等学院バスケットボール部部长)

何の因果かアメリカに1年間、「特別研究」を名目に行けることになった。研究の目的は、「アメリカの大学・高校におけるバスケットボールの練習内容を日本の高校にフィードバックすることにある。だが、本当にそんなことは可能なのだろうか？行ってみなければわからないので実際に行ってみたら、そのことを知ったOB・OG会の服部副会長に「会報に報告を書いてほしい」と言われた。

当初の目的である大学の女子チームに許可され、一軍の練習を見学した。その練習は試合期に入っていることもあり、男子大学生を相手にした激しいものであった。アメリカの大学生の女子プレーヤーは男子プレーヤーを吹っ飛ばしてリバウンドを取り、シュートを簡単にブロックする。この見学後、大学生の練習を高校生にフィードバックすることは「無理だ！」思い、研究の対象を高校生に絞ることにした。対象はIndiana州 West Lafayette市にあるWilliam Henry Harrison High Schoolの女子チームである。

アメリカの高校の対外スポーツは、日本のそれとは全く異なる。なぜなら高校の対外スポーツを管轄する全国組織がなく、州の高校体育協会が統括しているからである。そのためどのスポーツでも全国大会は行われぬ。この体育協会に所属する高校は、学校の規模により4つのクラス(A～AAAA)に分けられた後、地域を考慮したカンファレンスに所属することになる(まれに単独校がある)。また、秋・冬・春の3シーズン制で行われ、バスケットボールは冬シーズンに組み入れられている。

バスケットボールではカンファレンス外の高校と対戦した後(新聞社主催のトーナメント等)、カンファレンス内の高校とホームもしくはアウェイの1試合のみのリーグ戦を行い、その全ての結果でカンファレンス内の順位を決定する。ここでの獲得ポイントはその高校のポイントになり、全スポーツの獲得ポイントを総合しカンファレンス優勝高校が決定する。その後カンファレンスとは別の分け方をしたセクション(地域)ごとにトーナメントが始まる。このトーナメントはリージョン・セミ・ステイト・ステイトとステップアップし、最終的にステイト(州)の優勝校(クラス別に行われるので4校)を決めるために行われる。

この州の優勝決定戦が高校生の最高峰の試合になるので、盛り上がりはものすごい。会場は普段NBAが使用しているアリーナ(Indiana州ではPacersの本拠であるConseco Field House)が使われ、男・女それぞれ別の日に午前・午後2試合ずつ行われる。地域全体で地元の高校を応援するので、試合の最中はその街から人がいなくなっているのではと思えるくらい会場には人が集まり、応援団の入れ替えをしても各試合ともアリーナは満員になる。もちろんTV中継も行われる。



アメリカの高校は、日本でいう中学3年生から高校3年生までの4学年である。選手の決定に際しては、各々のスポーツでトライアウトが行われ、パス

した選手のみが対外試合に出場できる。選手はそれぞれ一軍(Varsity)・二軍(Junior Varsity)・新人(Freshman、9年生のみ)の3編成に振り分けられ、各レベルにコーチが付く。この選手に選ばれることは非常に名誉なことで、その証として“Letter”と呼ばれるステッカーを自分のスタジアム・ジャンパーなどに貼ることが出来る。そのために選手達は“Lettermen”とも呼ばれている。また選手として活動するためには、学業成績も伴っていなければならない。選手達は日本では考えられないほどの宿題をこなしながら、練習も行っている。コーチは毎週月曜日、選手に前週の成績表を提出させ、成績不良の科目がないかどうかをチェックする。実際Harrison High Schoolの女子チームには185cmの有望なセンターがいたが、その選手は秋学期に1科目(国語、つまり英語の事です)で“F”を取ってしまった。そのためその後一切、試合はもちろんのこと練習にも参加することが出来なかった。アメリカのスポーツ選手は必ず、“文武両道”でなければならないのである。なので選手達は、チームに選手として選ばれることを非常に「誇り」に思っているのである。



チーム作りには“Returning Lettermen”と呼ばれる前年度の一軍・二軍の選手が必要不可欠である。なぜなら、これらの選手達は練習内容やチームのシステムを熟知しており、コーチと選手達のパイプ役となるからである。しかしバスケットボールでは、これらの選手達は運動能力があるため、前シーズンのスポーツ(男子ではフットボール・サッカー、女子ではバレーボール・サッカー)の選手として選ばれていることが多い。このため、準備期の練習にはそのシーズンのスポーツのみに参加したい選手が、運動能力の無い選手が参加することになる。

練習および試合の日程は、9月の第2週から約1ヶ月半の準備期に入り、10月の第4週にシーズンインをする。この期日は州の高校体育協会によって決められる。11月の第1週にスクリメージ(練習試合)が行われ、第2週から翌年の2月の第1週まで週に1もしくは2回、カンファレンスのリーグ戦が行われる。その後、州の優勝校を決めるためのトーナメントに入り、この試合は毎週土曜日に行われる。練習内容は準備期では基本練習で、

Stretching, Strength training, SAQ, Ball handling, Shooting, Defense step等が主となる。

試合期は応用練習で、

Shooting, Passing, 1on1, 2on2, 3on3, 4on4 (shell, Rebound),

5on5 (scrimmage, Formation, Team offense, Team defense)が行われる。週に2回ゲームがあるため、試合後に基本に戻った練習が出来ず、次のゲームのスカウティングに終始してしまう感がある。

現在の日本はアメリカのテレビ番組やソフトウェアなどが  
(次ページに続く)

簡単に入手できるため、情報が常に更新されている。そのため、練習の内容としては特に目新しいものは無い。ただし、アメリカでは国際ルールではなく独自のルールで試合が行われている(例えば高校生の試合では、ショットクロックがない)。そのため、オフェンスではスクリーンプレーを多く使い、クイックヒットはあまりしない。ディフェンスではウィングのプレーヤーに対するディナイが非常に厳しい。

練習時間はきっちり2時間。理由は二つある。一つ目は、アメリカでは男女で体育館の併用をしない。コートを2面取れる体育館であっても、メインのコートを使ってどちらかしか練習をしないのである。女子が終わった後に男子が使うことが多く、女子の練習が終了するのを男子の選手が、「今か

今か」と待ちかまえているからである。二つ目は、アメリカの田舎は公共の交通機関が発達していない。選手達はスクールバスを使用するか、自分で車を運転して(なんと16歳から免許が取れる)通学している。スクールバスは授業終了後すぐにしか無いため、免許を持っていない選手は親の迎えが不可欠である。もし練習が長引くと、迎えに来た親からの“ブーイング”がすごいことになってしまうからである。付け加えるならば、選手達の宿題をこなす時間も確保しなければならないから。

まだまだ話したいことは山ほどあるけど、字数もオーバーしているのでこの辺で。詳しい話は正月にでも出来るといいですね。では。

## 新チーム紹介

### 男子新キャプテン挨拶

今年のチームの目標は二つあります。

一つ目の目標は、インターハイに出場することです。今年のチームには中学時代に優秀な成績を残した選手は少なく、長身者や運動能力が特別高い選手はいません。しかし、このような「普通のチーム」でも努力次第ではインターハイに出場できることを証明したいと思います。

二つ目の目標は、日本一いいチームになることです。僕たちの考えるいいチームとは、練習・礼儀・規則・日常生活などあらゆる点でレベルが高いことを当たり前のようにできるチームのことです。この目標は、いくら強くなってインターハイに行ったとしても、そこから何かを学べなければ意味がないという考えに基づいたものです。僕たちはあくまでも高校生であり、正直なところ、結果はさほど大切ではありません。本当に大切なのはスポーツを通して得られる「あいさつ」「感謝の心」「根性」「精神力」「協調性」「人間性」などなのです。

ただ単にバスケットボールをやったからといって身に付くものではありません。だからこそ 常日頃からいいチームになろうと意識して、それにふさわしい行動をとることで身に付けることができます。具体的には、あいさつをする、時間を守る、集合・解散を素早くする、施設・器具等を大切に扱う、と言ったことです。当たり前のことではありますが、まだまだできていないと言え難い状態です。ただ、これらのことが非常に高いレベルでできるようになった時、日本一いいチームになれると信じています。

こんなチームですが応援よろしくお願いします。

### 女子新キャプテン挨拶

昨年度は、選抜大会で春日井高校に僅差で敗れ、一度はシード権を失ってしまいました。新人戦は残念ながら2回戦敗退……。しかし、総体では千種高校や旭野高校に勝って名北地区で6位になり、シード権を取り返しました。目標だった県大会出場は果たせませんでした。先輩は私たちにとっても良いものを残して下さいました。

今年度は、1年生12人、2年生10人のやる気に満ちた22人でスタートしました。個性的なメンバーで、日々楽しく、そして一生懸命練習しています。新チームは、高校からバスケットを始めた人が多いため、全員で基礎から始めました。また、自分たちの持ち味であるスピードと身長を両方を生かして、速さでも高さでも勝負できるチームになれるように、更なるスピードアップと脚力強化のため毎日走り込んでいます。技術やチームワークはまだですが、全員が向上心を持って、お互いに切磋琢磨しながら高めていきたいと思っています。

昨年私は、名北地区と県のエンデバーに参加させていただきました。そこで感じたことは、全てのプレーのスピードの速さと精度の高さ、そして視野の広さです。自分自身にもあまり身に付いていませんが、得たものをみんなに伝え、チームとしての実力アップに繋げていきたいと思っています。

私たちの目標は、先輩たちの果たせなかった県大会出場。また、4校リーグで今年も現役・ルーキーともに優勝することです。目標が目標で終わらないよう、“ポン”こと今井先生のもと、チーム一丸となって練習に励んでいます。つらいこともあると思いますが、『バスケットが大好き』という気持ちを忘れることなく、みんなで励まし合いながら頑張っていきます。OB・OGの方々、保護者の方々、応援よろしくお願致します。

平成18年度の戦績

	男 子	女 子
四校リーグ [ 8月 ]	現役 旭丘50×85菊里 旭丘55×97向陽 旭丘50×56明和 (1位菊里、2位向陽、3位明和、4位旭丘) ルーキー 旭丘49×44向陽 旭丘44×35明和 OB戦 旭丘55×45菊里 旭丘50×50明和 超OB戦 旭丘・菊里 26×11明和・向陽	現役 旭丘72×54向陽 旭丘66×44菊里 旭丘92×56明和 (1位旭丘、2位明和、3位向陽、4位菊里) ルーキー 旭丘44×20向陽 旭丘58×44菊里 OG戦 旭丘17×23向陽 総合成績 (全チーム3勝3敗のため得失点差で決定) 1位菊里、2位向陽、3位旭丘、4位明和
選抜名北 [ 10月 ]	2回戦 旭丘63×84名東	2回戦 旭丘105×29瀬戸窯 3回戦 旭丘64×67春日井
新人戦名北 [ 1月 ]	1回戦 旭丘57×60春日井工	1回戦 旭丘74×60愛知 2回戦 旭丘60×106聖霊
総体名北 [ 4月 ]	1回戦 旭丘62×71高蔵寺	2回戦 旭丘137×4守山 3回戦 旭丘61×55千種 準々決勝 旭丘19×71愛知商 5～8決 旭丘64×61旭野 5決 旭丘28×70春日丘(第6位)

愛知一中・旭丘高校バスケット部 OB・OG 会会計報告

2006年度決算報告

(2006年4月1日～2007年3月31日)

(1)収入の部

年会費・寄付金(125名分)	389,000
利息	80
全年度からの繰越金	0
合計	389,080

(2)支出の部

通信費	76,550
印刷費	31,395
事務費	9,346
会議費	12,380
事業補助費(四校リーグ、新年会等)	74,361
うち四校リーグ補助費は55,000	
現役補助費	111,106
繰越金	73,942
合計	389,080

2007年度予算案

(2007年4月1日～2008年3月31日)

(1)収入の部

年会費(150名分)	350,000
利息	100
繰越金	73,942
合計	424,042

(2)支出の部

通信費	80,000
印刷費	40,000
事務費	10,000
会議費	20,000
事業補助費	100,000
現役補助費	100,000
繰越金	74,042
合計	424,042

特別会計の部

名簿作成準備金残高 153,299

- ・ 現役補助でデジタルビデオカメラを購入しました。02年に購入したものを合わせて2台となり、男女同時に使えるようになりました。
- ・ 女子のユニフォームのカンパにご協力ありがとうございます。四校リーグ当日のカンパ 16,000円、新年会カンパ 32,500円 合計 48,500円集まりユニフォーム代金に当てました。
- ・ 今年度の現役補助予算は10万円ですが、会費収入が増えれば、増額したいと思います。  
会費は1口1,000円です。同封の振込用で振り込むか、四校リーグや新年会の際に役員か顧問の今井OBにお渡しください。社会人の方はできれば2口以上の協力をお願いします。

## 第58回バスケットボール四校リーグのお知らせ

今回は菊里高校が担当校です。スポーツセンターが連続して2日間確保できず、また菊里高校の体育館が耐震工事のため利用できないこともあり、下記のような変則の日程になりました。

第1日 8月12日(日) 於 明和高校体育館

時間	区分	Aコート	Bコート
8:30	開会式		
9:00	現役女子	旭丘×菊里	明和×向陽
10:30	現役男子	向陽×明和	菊里×旭丘
12:00	ル-キ-女子	明和×向陽	菊里×旭丘
13:00	ル-キ-男子	旭丘×菊里	向陽×明和
14:00	OG戦	向陽×明和	旭丘×菊里
14:50	OB戦	菊里×明和	向陽×旭丘
15:50		超OB戦	OG決勝
16:40		OB決勝	OB三決

第2日 8月14日(火) 於 名東スポーツセンター

時間	区分	Aコート	Bコート
9:30	現役女子	向陽×旭丘	明和×菊里
11:00	現役男子	明和×菊里	向陽×旭丘
12:30	ル-キ-男女	男子勝者戦	女子勝者戦
13:30	現役女子	旭丘×明和	菊里×向陽
15:00	現役男子	菊里×向陽	明和×旭丘
16:30	閉会式		

全日程終了は17:00

名東スポーツセンターは、地下鉄本郷で下車して  
市バスにて障害者スポーツセンター下車徒歩5分

- ・ OB戦は10分-1分-10分のハーフ(流し)、OG戦は15分ハーフ(流し)、超OB戦は10分ハーフ(流し)です。
- ・ ハーフタイムは5分です。(タイムアウトと残り1分のみ時計を止めます。)
- ・ OG戦、超OB戦は、他校との混成チームになる場合もあります。なお、超OBチームは原則として40歳以上とします。
- ・ 来年度以降は 向陽 旭丘 明和 菊里 の順です。

**会場の駐車場には限りがありますのでできるだけ公共交通機関を利用して来場してください。**

**新年会のお知らせ** 少し気の早いお知らせですが、1月3日(木)11時よりOB戦やOG戦を行います。顧問の今井OBが温かい“ぜんざい”を準備して待っています。詳しくは12月上旬にホームページにて連絡します。

**編集後記:**今回は以前旭丘高校のコーチをしていた35回生の杉山英士OBからアメリカの高校におけるバスケットボール部の活動状況のレポートを寄稿していただきました。帰国後の多忙な中での執筆ありがとうございます。内容豊富なレポートのおかげで充実した紙面になりました。なお、空席になっていた六部(51回生以降)の役員が決定しました。副会長 猫田知宏(52)、清水奈津子(51) 幹事 河田 陵(52)、福井梨紗(57)です。よろしくお願いいたします。

**事務局** 服部保孝(25) 近藤耕司(29) 服部敦(29) 村山浩二郎(38) 稲垣直邦(45)

TEL と FAX : 0586 - 45 - 0858

Mail : yhattori@concerto.plala.or.jp